

守恒SOSネットワークだより



第3号 平成25年2月1日発行
守恒SOSネットワーク会議

次回は2月25日(月) 19:30からです。どなたでもご参加頂けます。

1月12日 第3回「守恒SOSネットワーク」会議 報告

1月17日(土)の初めてのSOSメール配信から僅かの間に計6件のメールを配信しました。そのうち3件は守恒での出来事です。高齢者を中心とした徘徊や行方不明は市内各地で思っていたよりたくさん起きていることを実感したところです。3月2日(土)に守恒で「搜索模擬訓練」を行います。地域自らが企画した模擬訓練は、全国でもあまり例がないとのこと。それだけに守恒らしい地域の思いが生きる訓練にしたい!今回は3月の「搜索模擬訓練」を念頭に、東京から永田久美子さんをお招きして「搜索模擬訓練に取り組む意味」についてお話を伺いました。



学習会「搜索模擬訓練に取り組む意味」

講師 認知症介護研究・研修東京センター 研究副部長 永田久美子さん

毎年北九州を訪れる永田さん、既に守恒校区のホームページは確認済とのこと。ご講演頂く前に守恒のまちを車で回って紹介しながら、「①ショッピングセンターや銀行が複数あり、マンションが立ち並ぶ都会。②文教地区と評判。小学校は北九州一の大規模校である。③「もりつネット」という携帯メール配信システムを持っている。④高齢化率は16.7%と北九州市内では若い方。しかし早期に造成された町内は40%近い高齢化率のところもある。⑤周囲は山に囲まれ、奥に入ってしまうと分からなくなりそう。⑥322号線や県道に直結しているため、道を伝って歩いていけばかなり遠くまで行ける。」などの特徴をお話ししました。

元気な人が何気なく安全に暮らしているまちで、全国で1日平均64.6人の方が行方不明になっているそうです。多くは発見されたり自力で帰宅するものの、残念ながら死亡や未発見の方も1日平均2.5人おいでのこと。皆が様々なSOSについて学習し「もしかしたら・・・」と思われる様子が敏感になり、その方に一声かけることで助かる命があります。行政主導だと「させられ感」から仕組みが形骸化してしまうケースもままあるとか。地域の目線で企画した「搜索模擬訓練」をまずやってみて、みんなで振り返って、機能する仕組みづくりを進めていけるといいですね。

当日見せて頂いた、実際の搜索模擬訓練のビデオでイメージも湧いてきました。

守恒SOSネットワークの専用電話番号が決まりました!

専用電話番号 080-5804-5871

この番号でSOSメールの配信を受け付けます

次回の守恒SOSネットワーク会議は、搜索模擬訓練の直前の2月25日(月) 19:30からです。

昨年の6月に事業所で、模擬訓練に取り組みされた 有限会社故郷 ふれあい家族 代表取締役の野村美代子さんを講師にお迎えして、「模擬訓練を実施して」と題してお話し頂きます。